

海岸工学講演会講演集および COASTAL ENGINEERING IN JAPAN

昭和 29 年 11 月神戸市において第 1 回の海岸工学研究発表会が開かれ、その後わが国における海岸工学の発展を期し、土木学会に海岸工学委員会が設置され、この委員会の活動の一つとして行なっている海岸工学講演会は今年で第 12 回を数えることになりました。この間土木学会では毎年海岸工学講演集を刊行すると同時に、昭和 33 年よりわが国の海岸工学研究の業績を広く海外へ紹介することを目標に Coastal Engineering in Japan を発行しております。このようにわが国の海岸工学の研究は非常にすすんでおり、第 11 回国際海岸工学会議は来年東京で開催されることになりました。この機会にわが国の海岸工学の現況を理解する意味でぜひ本会刊行の海岸工学講演集をご一読下さるようおすすめいたします。

海岸工学講演会講演集および Coastal Engineering in Japan 一覧

第 4 回 海岸工学講演会講演集 (1957)	B 5 判 254 頁	実費 300 円	(送料 70 円)
第 5 回 海岸工学講演会講演集 (1958)	B 5 判 204 頁	400 円	(" 70 円)
第 6 回 海岸工学講演会講演集 (1959)	B 5 判 150 頁	400 円	(" 70 円)
第 9 回 海岸工学講演会講演集 (1962)	B 5 判 162 頁	1 000 円	会員特価 800 円 (" 100 円)
第 10 回 海岸工学講演会講演集 (1963)	B 5 判 184 頁	1 200 円	" 1 000 円 (" 100 円)
第 11 回 海岸工学講演会講演集 (1964)	B 5 判 300 頁	1 500 円	(" 120 円)
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL I (1958)	B 5 判 147 頁	実費 250 円	(送料 共)
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL II (1959)	B 5 判 122 頁	300 円	(")
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL III (1960)	B 5 判 125 頁	500 円	(")
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL IV (1961)	B 5 判 122 頁	700 円	(")
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL V (1962)	B 5 判 160 頁	1 200 円	(")
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL VI (1963)	B 5 判 130 頁	1 000 円	(")
COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL VII (1964)	B 5 判 150 頁	1 200 円	(")

1964 年 主 要 目 次

流れの中の有限振幅波 (追補) / 浜田徳一 ■ クノイド波に関する研究 / 岸 力・佐伯 浩 ■ 表面波の 2 次干渉 / 浜田徳一 ■ 回折問題の一解法について / 和田 明 ■ 重複波に関する二、三の問題について / 永井莊七郎 ■ 風波スペクトルの発生、発達と海面摩擦力に関する研究 (2) / 日野幹雄 ■ 水面に作用する風のせん断力と水面粗度について / 光易 恒 ■ 浅海における波浪スペクトルの変形に関する二、三の実例 / 岩垣雄一・柿沼忠男 ■ 減衰領域における風波の研究 / 光易 恒・木村久雄 ■ 海底摩擦による波高減衰に関する基礎的研究 (2) - 底面摩擦応力の測定について - / 岩垣雄一・土屋義人・坂井順行 ■ 鉛直振動流による造波の理論について / 合田良実 ■ リレーを用いたステップ式波高計と波浪観測塔 / 村木義男・石田直之・高島和夫 ■ 波向観測等におけるレーダーの応用 / 井島武士・高橋智晴・佐々木 弘 ■ 庄内海岸の波について / 三浦 晃 ■ 防波堤開口部の潮流に伴う海底摩擦および垂直渦動粘性係数について / 中村重久 ■ 東京湾の進入長波に対する振動応答特性 / 日野幹雄・日野和子 ■ 数値模型による東京湾横断堤の防潮効果に関する研究 / 伊藤 剛・日野幹雄・渡辺二郎・日野和子 ■ 東京湾の潮流に関する実験的研究 / 堀川清司・梶浦欣二郎・相田 勇・長谷直樹 ■ 高潮発生装置の試作とその予備実験 / 室田 明・村岡浩爾・岡田 耕 ■ 水門からの海水侵入に関する基礎的研究 / 室田 明・神田 徹 ■ 石狩川河口の研究 / 福島久雄・柏村正和・八鍬 功・高橋 将 ■ 八郎潟干拓放水路の河口処理に関する実験的研究 / 中村 充・白石英彦・佐々木泰雄 ■ 波による海底砂の移動限界と砂れんの発生 / 野田英明・井保武寿 ■ 波による浮遊砂に関する研究 / 本間 仁・堀川清司・鹿島遼一 ■ 波による底質の変形について / 松梨順三郎・大味啓介 ■ 鹿島港海岸の漂砂について / 井島武士・佐藤昭二・田中則男 ■ 重複波の波圧公式とその適用限界 / 岸 力 ■ 碎波の圧力と堤体の滑動 / 林 泰造・今井 孝 ■ 海岸堤防に作用する波圧について / 富永正照・伊藤生哲 ■ 海岸護岸に働く全波力に関する実験的研究 / 本間 仁・堀川清司・長谷直樹 ■ 潮流のある海に用いる浮標に関する研究 / 永井莊七郎・小田一紀 ■ 重力式構造物 (防波堤) の摩擦抵抗の増大について / 加川道男 ■ カーテン防波堤とその特性について / 森平倫生・柿崎秀作 ■ 海岸構造物の設計基準水面について / 久宝 保・竹沢三雄 ■ 韓国東海岸の高潮災害復旧方法に関する研究 (英文) / 季 文姿・金 東暉 ■ 大分臨界工業地帯における埋立地の消波護岸の設計について / 辰巳寿男 ■ 海岸堤防のり面と波のうちあげ高さとの関係 (II) / 尾崎 晃・佐藤幸雄・戸沢哲夫 ■ 波高と潮位が越波と波のうちあげにおよぼす影響 / 岩垣雄一・島 昭・井上雅夫 ■ 海岸堤防への波のうちあげ高 - 海底勾配 /130- 豊島 修・首藤伸夫・橋本 宏 ■ 表小段を持つ複断面型堤防への波のうちあげ高について / 豊島 修 ■ 中空三角および中空三脚ブロックの安定および消波効果に関する実験的研究 / 田中 茂・杉本修一 ■ 海岸堤防の越波におよぼす消波堤の効果 / 永井莊七郎・高田 彰 ■